

令和7年度 東部地区公立小・中・義務教育学校

臨時的任用教員・任期付教員研修会実施報告

1 期 日 令和7年5月30日（金）

2 会 場 松伏町中央公民館 「田園ホール エローラ」

3 目 的 臨時的任用教員・任期付教員に対して、教育に関する基本的事項を内容とする研修を行い、教員としての使命感を高め、実践的な指導力を養い、併せて教育公務員としての自覚を高める。

4 内 容

- (1) 講義1 「教員としての心得（服務、事故防止等について）」
- (2) 講義2 「安全教育と安全管理」
- (3) 講義3 「よい授業のポイント（授業づくりについて）」
- (4) 講義4 「教育相談の考え方・進め方」
- (5) 講義5 「教員のメンタルヘルス」

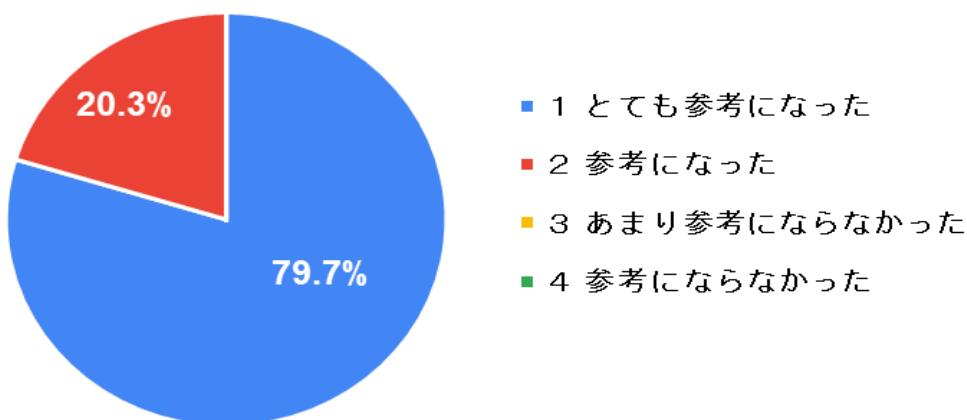
5 参加者

133名

※令和6年度 134名

6 参会者の感想から

【アンケート：本研究協議会は参考になりましたか】



7 まとめ

教育公務員としての気付きや自覚、そして子供の前に立つ教員としての責任を感じる参会者が多かった。各講義が、日頃の自分自身の指導を振り返るよい機会となった、明日からの実践に活かしたいとの声も多く聞くことができた。服務、授業づくり、教育相談、安全への配慮、日々の積み重ねを大切にしていこうという明日以降の意欲も聞かれた。また、具体的な事例を踏まえた話が分かりやすく、すぐに実践できるものが多かったため大変有意義な研修だったという意見もあった。

8 参会者の感想より

○講義1 「教員としての心得（服務、事故防止等について）」を受講して

- ・教職員としての服務を改めて理解し、これからも教職員としての自覚をもち、誠実に職務に励みたいと思った。
- ・普段あまり意識することのなかった「服務」や「事故防止」について、改めて意識することができた。
- ・教職員としての心得を再認識するとともに、気持ちを引き締める良い機会になった。また、服務規程については、実際に市のものを確認したいと思った。
- ・法律や服務規程を確認することで教職員の1日の流れを再確認することができた。また不祥事に関することも再確認し、教職員の倫理観や判断力、使命感をもつことが大切であると理解した。

○講義2 「安全教育と安全管理」を受講して

- ・安全教育と安全管理の違いを明確に理解できたことで、児童の安全を守るための具体的な行動や意識が変わったと思いました。
- ・どんなときにもリスクはあり、安全のために子供にどう指導すべきか確認することができた。
- ・安全教育について様々な事例をもとに考えることができた。私は理科専科として勤務しているため、管理、指導の両面を日々考える必要があると感じた。
- ・安全管理では、児童・生徒全員の命を必ず守るために、柔軟な対応や事前の対策をしっかり考え、実施しなければいけないと分かった。

○講義3 「よい授業のポイント（授業づくりについて）」を受講して

- ・授業づくりの流れに関しては、これまで漠然としていた部分が明確になった。特に、「東部の教育」に掲載されている授業の振り返りの視点は、具体的な改善策を導き出す上で非常に有効だと感じたので早速試してみたい。
- ・ゴールを明確にして、単元全体の見通しを持つことが大切であると学ぶことができた。自分の授業を振り返る時間をとることで、自己研鑽の時間を作ることができると感じた。
- ・授業のゴールを決めることについては、今の自分に足りない「授業を通して児童生徒が何ができるようになるか」について改めて考えさせられるきっかけとなった。
- ・日々の授業において、つい目の前の指導に追われてしまうことがあるが、生徒の学びのプロセスを意識しながら計画的に授業を構成していく視点の重要性を改めて感じた。

○講義4 「教育相談の考え方・進め方」を受講して

- ・面接相談の三段階や、基本技法をしっかりと身につけたいと思った。特につながる言葉や傾聴は、教育相談以外のコミュニケーションでもとても参考になった。
- ・不登校生徒との面談を定期的に行っているため、傾聴や受容、明確化など教育相談の具体的な手法を知ることができた。今までの自分の言動を振り返り、次回の面談から早速実践をしていきたい。
- ・受容と傾聴をしっかりとし、今後の対策をこちらから提示するのではなく、生徒から引き出せるような、指導ができるように意識していきたい。
- ・教育相談について理論として学んできたものをどのように現場で活かすかについて考えていたので、具体的な実践例を加えながらの説明がわかりやすく大変ためになった。

○講義5 「教員のメンタルヘルス」を受講して

- ・ストレスと向き合うためには自分自身の状態に気づくことが第一歩であると学んだ。教職員間での関係づくりや、ライフイベントによるストレスの捉え方についての話も、自分自身の働き方を見直す良いきっかけとなった。
- ・教職員同士の関係づくりや、心の健康について視野を広くしたいと思った。また、頑張りすぎるだけではなく、日々元気な姿を見せるために休むことの重要性について考えることができた。
- ・教員として、子供たちを第一に考えながら仕事をすることが大切だということ、そして、自分自身も大切にしてあげないといけないと改めて考えることができた。
- ・日々の授業で忙しく過ぎていく毎日だが、ワーク・ライフ・バランスをしっかりとって教員生活を充実したものにしていきたい。